

always better 常によりよい商品づくりを目指して 婦人肌着の企画・生産・卸・販売まで 一貫体制でイメージ通りの商品を

ファニー



製造業がひしめく工業地帯の大田区において、一際存在感を示しているのがファニー（大田区千鳥、菅佐原勇社長、03・3757・1832）だ。同社は、婦人下着を主軸として、補正下着・肌着等の企画、生産、卸、販売まで一貫体制でOEMのオリジナル商品を展開している。

1973年の創業以来40年、着心地、肌触り、フィット感などに重点を置き、女性の美しいプロポーションづくりのお手伝いができる商品を、スピーディーかつ親身で柔軟な対応によって生産している。「様々なニーズに幅広く」をモットーに、高品質で安心して使用できる商品製造を心掛け、ファッション性と実用性の融合を目指している。

企画室と生産工場が一体となったグループ体制を採ることで、顧客の声を反映した「イメージ通り」のものづくりを実現している。加えて国内、中国、ベトナム工場での生産体制によって、大量生産から高品質商品など、様々な種類の商品を生産している。専属デザイナーを抱え、顧客の要望からイメージを決定し、試作サンプルの

段階からより細かな商品デザイナーを決めるなど、顧客が納得するまで徹底的に試作を繰り返し、イメージ通りの商品を目指す姿勢は、大きな支持を受けている。

生産された商品は、主にディノスやベルメゾンなどのカタログ販売、高島屋や三越伊勢丹の百貨店通信販売の商品として卸されるなど、とりわけ通信販売業界に多くの取引先を有しており、こだわりあるものづくりへの取組みにより多くの信頼を得ている。「販売チャネルが多様化している現代、これに適應できるよう取組んでおり、次世代へと引継いでいくことが私の夢でもある」と菅佐原社長は語る。

卸業にも積極的に取組んでおり、検品梱包なども請け負っている。

詳しくはホームページにて

(<http://funny33.co.jp/>)



本社の展示室